



保健

ペット防災連続講座

【日時】2月18日(土)午後4時〜6時30分

【対象】区内在住でペットを飼っている方ほか、50名

【内容】被災地のペットの状況、飼い主の備えについての講演(講師は齊藤勝之/獣医師、谷茂岡良佳/動物看護師)

【会場・申込み】当日直接、牛込竈筒地域センター(竈筒町15)へ。先着順。

専門医による

呼吸器健康相談

【日時】3月1日(水)午後1時15分〜3時

【問合せ】衛生課管理係(第2分庁舎3階) ☎(5273)3148へ。

もしかしてぜん息!?

「ゼロゼロ」「ヒューヒュー」はぜん息のサインかもしれません

ぜん息は、気道が炎症を起こして狭くなる病気で、せきが出たり、息をすると「ゼロゼロ」「ヒューヒュー」などの音が聞こえます。

子どものぜん息は、ダニ・花粉などへのアレルギー反応が原因のことが多く、アレルギー症状をきっかけにぜん息が見つかることもあります。「もしかしたら」と思ったら、早めに医師の診察を受けましょう。

【問合せ】健康政策課公害保健係(第2分庁舎分館1階) ☎(5273)3048へ。

こんな症状が続いたら相談を



じくじくして治りにくい湿疹がある



風邪をひいた後、数日から数週間、鼻水やせきが続く



特定の食物を食べると、皮膚が赤くなったり湿疹が出たりする



「ゼロゼロ」や「ヒューヒュー」の症状がある。夜になると特に悪化する

子ども健康水泳教室

ぜん息を治療している小学生を対象に、水泳を通じて腹式呼吸の練習や、呼吸器の鍛練と体力づくりを指導します。

【会場】新宿コズミックセンター(大久保3-1-2)

親子ぜん息デイキャンプ

ぜん息を治療している小・中学生と保護者を対象に、日常生活に必要な知識等をお伝えします。

※水泳教室・デイキャンプの29年度の参加者は「広報しんじゆく」後号で募集します。

ぜん息予防アレルギー相談

各保健センターで定期的に開催しています。

【日時】3月7日(火)午後1時15分〜3時

【会場】落合保健センター(下落合4-6-7)

【対象】区内在住の15歳未満で、ぜん息・アトピー性皮膚炎などのアレルギー症状でお悩みの方、10名

【内容】問診、医師の診察、住まいのダニ対策、栄養・保健相談

【申込み】電話で2月7日(火)〜28日(火)に健康政策課公害保健係へ。先着順。

あそびの広場



しんじゆく 情報局

マイ巾着づくり

【日時】2月18日(土)午後1時30分〜3時30分

【内容】小物入れやコップ入れとして使える巾着づくり

【後援】新宿区

【会場・申込み】当日直接、落合第二地域センター(中落合4-17-13)へ。先着30名。

神楽坂検定(初級・中級)

【日時】2月26日(日)、初級：午後2時30分〜3時15分、中級：午後4時〜4時45分

【会場】牛込竈筒地域センター(竈筒町15)

【内容】神楽坂の歴史・文化・地理・建築・店舗等全般の知識について出題

【受験料】▼初級：千円、▼中級：2千円

【後援】新宿区

【申込み】ファックスか電子メールに3面記入例のほか受験級(初級・中級の別)を記入し、2月15日(水)までにNPO法人粋なまちづくり倶楽部 ☎050(3558)6260 ☎(5261)3464

【問合せ】kimachi.kentei@gmail.comへ。定員各50名。応募者多数の場合は抽選し、2月22日(水)ころまでに受験票を発送します。

四谷ひろばパソコン教室

【日時】3月3日〜24日の金曜日午前10時〜12時、全4回

【費用】5千500円(4回分、教材費等)

【会場・申込み】往復はがきに3

【内容】▼基調講演(特別区の技

術職ならではの魅力等を紹介、

▼技術職職員の仕事紹介と質問

【会場・申込み】当日直接、明治学院大学白金キャンパス(港区白金台1-2-37)へ。

面記入例のほか開催月(3月)を記入し、2月20日(必着)までに四谷ひろばパソコン教室係(〒160-0004 四谷4-20)へ。定員15名。応募者多数の場合は抽選。応募者が3名に満たない場合は中止します。

【問合せ】四谷ひろば運営協議会 ☎長谷川 ☎090(3400)0371へ。

「キッズ伝統芸能体験」発表会観覧に招待

プロの実演家に学んだ子どもたちの発表会です。元NHKアナウンサー葛西聖司さんが司会を務め、プロの実演もあります。

【日時・会場・招待人数】▼①能楽：3月20日(祝)午後1時から/宝生能楽堂(文京区本郷1-5-9)、100名、▼②長唄・三曲・日本舞踊：30日(木)午前11時から/午後3時から/国立劇場大劇場(千代田区隼町4-1)、各300名

【主催】東京都、アーツカウンシル東京、芸団協

【後援】新宿区

【申込み】ファックスか電子メールに3面記入例のほか希望人数、希望日(①②の別。②の場合は午前・午後の別も)を記入し、2月24日(金)までに「キッズ伝統芸能体験」事務局(芸団協内) ☎(5909)3060 ☎(5909)3061

【問合せ】wageiko@geidankyo.or.jp

【会場】都内在住・在勤・在学の18歳以上、50名

【内容】食品と薬の違い、注意したい健康食品の広告表現、ジェネリック医薬品の品質確保について解説

【会場・申込み】往復はがきに3面記入例のほか年齢・職業、手話

通訳の希望の有無、介助者の同伴がある方はその旨を記入し、2月17日(金)(消印有効)までに東京都健康安全研究センター(〒169-0073 百人町3-24-1) ☎(3363)3472へ。応募者多数の場合は抽選。

東京都消費生活調査員を募集

【任期】30年3月31日まで

【対象】都内在住の20歳以上(地方公務員は除く)、50名(選考あり)

【内容】3区分のうちいずれか1つの調査と消費生活に関する情報提供。▼A食品の表示状況の店舗調査(5回)、▼B商品・サービスの表示・広告の調査(3回)、▼C生鮮食品等15点の内容量調査(6回。はかりは都が提供)

【謝礼】調査1回に付き3千円(研修会は2千円)

【申込み】任意の用紙に3面記入例のほか、希望区分(A・Cの別、第3希望まで)、年齢、職業、情報の入手先(区広報紙など)、応募動機(300〜400字)を記入し、2月21日(火)(消印有効)までに東京都生活文化局消費者情報担当(〒163-8001 西新宿2-8-1) ☎(5388)3076へ郵送してください。ホームページ「東京くらしWEB」(http://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/)からも申し込み可能です。お住まいの地域・応募動機等を考慮して選考します。

食の安全都民講座

【日時】3月2日(木)午後1時30分〜4時(午後1時15分開場)

【対象】都内在住・在勤・在学の18歳以上、50名

【内容】食品と薬の違い、注意したい健康食品の広告表現、ジェネリック医薬品の品質確保について解説

【会場・申込み】往復はがきに3面記入例のほか年齢・職業、手話

1月の新宿区の人口

|                          |                  |                 |
|--------------------------|------------------|-----------------|
| 1月の新宿区の人口 1日現在 (増減は前月比)  |                  |                 |
| 住民基本台帳人口 338,488人(700人減) |                  |                 |
| 世帯数 213,800世帯(641世帯減)    |                  |                 |
|                          | 日本人              | 外国人             |
| 人口計                      | 297,253人 (358人減) | 41,235人 (342人減) |
| 男                        | 148,747人 (200人減) | 21,508人 (209人減) |
| 女                        | 148,506人 (158人減) | 19,727人 (133人減) |